

稲作緊急特報

令和6年8月4日

黒 部 市
黒部市農業技術会議

「黒部米」の品質を守りましょう！！



本年は、県下的に斑点米カメムシ類の発生数が過去最高に多く、【カメムシ注意報第2報(7/23 発表)】が出されています。周辺から順次飛び込んできている状況のため、斑点米被害の増加が懸念されます。

1 追加防除について

「コシヒカリ」や「てんこもり」などの中・晩生品種について、「追加防除」を行いましょう。

【追加防除の目安】

時期	剤型	使用農薬	散布量/10a (薬量・倍率)	使用基準 (収穫前日数)
※追加防除	粉剤	トレボン粉剤 DL	4 kg	7 日前まで
2 回目から 7 日後	液剤	スタークル液剤 10	100L (100mL 1000 倍)	
	空散	スタークル液剤 10	0.8L (100mL 8 倍)	

- ・農薬は品薄状態ですので、早めに準備願います。
- ・散布時期の間隔は、10日以上空けないようにしましょう。
- ・使用基準（収穫前日数）を厳守のうえ、散布しましょう。
- ・畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・風向きや風速、散布量などに注意し、周辺の作物への飛散防止に努めましょう。
- ・水田内ノビエやホタルイは、登熟期間後半までの斑点米カメムシ類の侵入を招き、斑点米被害の発生を助長するので拔取りましょう。
- ・富富富 は、農薬成分数(12成分以内)を超過しないよう注意してください。

2 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂後の20日間は田面が出ないよう、「湛水管理」を徹底しましょう。(乾田直播は収穫直前まで湛水管理を続ける)

【湛水方法】

- ・水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・水持ちが良くても1週間に1回は、新しい水を入水する。
- ・20日間を過ぎたら収穫の1週間前まで「間断かん水」を続ける。
(フェーン予報時は湛水する)

熱中症予防のため、こまめな水分補給と休憩を取り、体調管理に注意しましょう。